

プログラム名 (40字以内)	中国・海南島の自然保護区管理を知る		
団体名/所属	大学院農学生命科学研究科附属演習林		
活動区分	国際交流体験活動、フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	15人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	学部学生、大学院生を問わず、海外の自然保護区やその活動に興味がある学生(文系理系を問わない)の参加を期待している。		
活動期間	2024/8/4(日)～8/11(日)	主な活動予定場所	中国海南島内の、自然保護区を中心に、国立公園、自然公園などを見学する
プログラム実施の目的	生物多様性に富み世界的に見ても貴重な熱帯の自然が残る海南島で、自然保護区、国立公園、自然公園などを見学し、実際に行われている活動に触れることで、自然保護の意味とその必要性を体感しよう。		
具体的な内容(800字程度)	<p>中国でもっとも新しい省である海南省は、海南島を中心として多くの島からなる熱帯の自然豊かな地域である。本活動では、海南島に多数設置されている自然保護区を中心に、国立公園、自然公園などを見学し、ここで行われている活動に触れることで、貴重な自然を守ることの意味と必要性について体感して欲しい。海南島は熱帯林を中心とした陸域と島の周囲に広がる海域に多くの同種植物が生育しており、生物多様性に富むばかりか固有性も高く世界的に見ても貴重な自然が残っている。この自然を守るため数多くの自然保護区が設置されているが、経済的、社会的なさまざまな要因からその活動は必ずしも容易ではない。今回の活動では以下のような自然保護区や国立公園の見学を予定しており、そこでの活動について説明を受けることで、「自然保護」の意味や必要性を各々の感性で感じ取って欲しい。</p> <p>(日程:現時点での計画であり、訪問地は一部あるいは大幅に変更になる可能性がある) 8月4日(日)に海南島入り、8月11日(日)に海南島出発の現地集合現地解散 第1日 羽田→広州→海口(海南省) 第2日 海南大学海口キャンパス見学 東寨港国家級自然保護区にてマングローブの生存戦略についての見学 第3日 海南大学儋州キャンパス見学 海南大学儋州キャンパス熱帯植物園で熱帯林の樹木の識別方法を学習 第4日 海尾湿地公園にて湿地植物と鳥類の観察 海南省ターミジカ自然保護区にて絶滅危惧種動物の保護政策についての見学 第5日 尖峰嶺国家公園にて尖峰嶺国家公園の歩みについての説明を聞く 第6日 尖峰嶺国家公園にて熱帯原生雨林の見学と植物に関する学習 海南大学海口キャンパスにて終了式・歓送会 第7日 海口→広州→羽田</p> <p>なお本活動は、すべての行程が海南大学林学院(旧熱帯農林学院:大学院農学生命科学研究科と学術交流協定を結んでいる)スタッフのサポートを受けて実施される。</p>		
【総額】参加するための費用	航空機代を除いて80,000円程度の予定。		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	海南島内の宿泊費は上記の総額に含まれる		
【内訳】参加するための費用(交通費)	海南島内の交通費は上記の総額に含まれる		
【内訳】参加するための費用(その他)	0		
奨励金額(予定)	40,000円		
備考	海南大学林学院: https://hd.hainanu.edu.cn/linxue/ 大学院農学生命科学研究科附属演習林: https://www.ufa.u-tokyo.ac.jp		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	なし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加しない		